

共にいきいきと暮らせる 男女共同参画社会の実現をめざして

11月29日、「四賢婦人生誕地・益城町男女共同参画宣言都市記念式典」が、町文化会館に約450人の参加者を集めて開催されました。オープニングには、町男女共同参画社会推進懇話会（会長・森永博之）による「からいも劇団」の寸劇「お母さんのクラス会」を公演。家庭における女性の立場を、家族全員が理解していく様子を、熊本弁でユーモアを交え熱演すると、参加者か

ら大きな拍手が送られました。また、会館ロビーでは同時に、矢嶋四賢婦人資料展も開催し、来場者はパネルの前で足を止めて見入っていました。

式典の中で住永町長は「男だから、女だからと決め付けないで平等に、お互い助け合っていくことが男女共同参画の第一歩。これを機に、男女共同参画の先駆者である郷土の偉人矢嶋四賢婦人を見習って『学習する益城町』を目標にして、男女が共に知恵を出し合い、より良いまちづくりを目指していきたい」とあいさつを述べ、引き続き町の若手職員が声高らかに「宣言文」を読み上げました。



高らかに「宣言文」を朗読する町職員



ユーモアたっぷりの話を聞かせてくれた本橋さん

『学習する益城町』を目標にして、男女が共に知恵を出し合い、より良いまちづくりを目指していきたい」とあいさつを述べ、引き続き町の若手職員が声高らかに「宣言文」を読み上げました。



会場には大勢の人が集まりました

この後、「男女共同いきいき益城へ！モツちゃんからのメッセージ」と題し、KKTKくまもと県民テレビアナウンサー本橋馨さん（もとのけい）の記念講演がありました。本橋さんは講演の中で、家庭での役割分担や、取材先でのエピソード、番組に届いたお便りなどを、ユーモアたっぷりに話し、会場を沸かせました。

第1回益城町総合福祉センター 建設検討委員会を開催

福祉施設の必要性について 話し合う



11月16日の検討委員会の様子

11月16日、第1回益城町総合福祉センター建設検討委員会が役場3階会議室で開催されました。



代表して委嘱状を受け取る
村上美穂さん

これは、現在の福祉施設状況を踏まえ、保健・福祉・子育て支援の連携強化と、効率的な行政サービスを提供するため、施設整備の検討を行うことと設置されたものです。

委員は、町議会議員や各種団体の代表、保健・福祉に携わる方など19人で構成されており、任期は2年。委員を代表して村上美穂さん（畑中）に委嘱状が渡されました。

委員会の冒頭で住永町長は、「多くの方に実態を知っていたが、じっくり研究を重ね、意見を挙げていただきたい」とあいさつ。その後、会長に渡辺誠男さん（下小倉）、副会長に富田セツコさん（福富）が選ばれました。

今後、会議や視察等を重ね、本格的な検討が行われます。